

# がん予防のススメ Vol.21

## 大腸がんの早期発見のために 大腸がん検診のすすめ



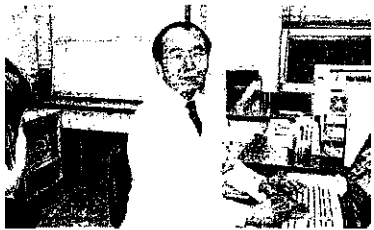
徳島大学病院  
消化器内科講師

岡久稔也氏

大腸がんは、  
日本人女性の

ん死亡原因の一位であり、二〇一五年ま  
でに男女合わせたがん罹患数の一位にな  
ると予測されています。一般に、根治可  
能な大腸がんでは自覚症状がありません  
。そこで、無症状のがんを発見するた  
めに大腸がん検診が重要となります。

しかし、徳島県の大腸がん検診受診率  
は、三年ごとの全国調査で二回連続最下  
位です。大腸がん検診は、問診と便潜血  
検査によって行われ、簡単に受けられま  
す。早期大腸がんの約五十パーセント、  
進行大腸がんの約九十パーセントで便潜  
血反応が陽性で  
す。内視鏡治療や  
手術によって治癒  
可能な大腸がんを  
発見するために、  
四十歳を過ぎたら  
年に一回は大腸が  
ん検診を受けま  
しょう。



**徳島大学病院がん診療連携センター**  
お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

**徳島がん対策センター**  
お問い合わせ 相談窓口: Tel.088-633-9438